



BANK REPORT 2020

百十四銀行 ミニディスクロージャー誌

第152期 営業の中間ご報告

2020年4月1日～2020年9月30日

114BANK mini Disclosure

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2 経営理念・行動指針・百十四銀行SDGs宣言
- 3 中期経営計画
- 4 トピックス
- 5 環境 Environment
- 6 社会 Social
- 8 ガバナンス Governance
- 9 業績ハイライト
- 11 経営の健全性について
- 12 株式情報
- 13 財務データ

ごあいさつ

平素より百十四銀行をご利用、お引き立ていただき、まことにありがとうございます。

この度、皆さま方の当行に対するご理解が一層深まりますよう、「2020年9月中間期ミニディスクロージャー誌」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、“新型コロナウイルス感染症拡大”が依然としてお客さまの事業活動や地域の経済活動に大きな影響を与えているなか、当行では最優先課題として、お客さまの資金繰り支援や本業支援など金融仲介機能の発揮に取り組んでおります。

また、4月にスタートした中期経営計画「トライ☆ミライ!」（計画期間2020年4月～2023年3月）では、お客さまや地域社会が抱える課題解決のため、お客さま起点の営業体制の整備や専門人材の育成、及び業務効率化等の構造改革に取り組んでおります。

さらに、環境保全や人権尊重への取組みを一層強化するために当行の基本的な考えを「百十四銀行環境

方針」、「百十四銀行人権方針」としてまとめ、公表いたしました。

これからも、お客さまや地域社会の発展を通じて当行も成長していくという好循環を通じて、ステークホルダーの皆さまが笑顔で過ごせる未来の実現をめざしてまいります。

皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

頭 取

綾田 裕次郎



Profile [2020年9月30日現在]

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	総資産	5兆2,189億円	貸出金	2兆9,645億円	発行済株式総数	30,000千株
創 業	1878年11月1日	総預金	4兆3,981億円(譲渡性預金を含む)	資本金	373億円	従 業 員 数	2,189人

※ 本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

経営理念

- 1 お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。



行動指針

- 対話を密にし、相互の信頼を深めます
- 環境の負荷軽減に努め、地域の活性化に貢献します
- プロフェッショナルとして成長するための努力を惜しみません
- ステークホルダーの期待を超える行動を実践します
- 多様性(ダイバーシティー)を理解し、人権を尊重します

「百十四銀行SDGs※宣言」

百十四銀行は、経営理念に掲げる「お客さま・地域社会との共存共栄」の実現をめざし、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)を自らの企業行動につなげることで、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

〈重点テーマ〉

地域価値の創造

地域の魅力を発掘し、それを発信することで地域価値を創造します。



地域経済の成長・発展

金融の枠を超えてお客さまと地域を徹底サポートすることで、共に成長する好循環を実現します。



地域に住む人々の幸せの支援

資産形成のサポートを通じ幸せな生活を支援するとともに、社会貢献を通じ地域活性化に取り組みます。



誰もが活躍できる場の創出

多様な考え方を受け入れ、役職員や地域の人々がいきいきと活躍できる場を提供してまいります。



※SDGsとは…

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに国際社会が達成すべき目標です。持続可能な社会を実現するための17の目標、169のターゲットから構成されています。



中期経営計画

当行は、本年4月に中期経営計画「トライ☆ミライ!」(計画期間2020年4月～2023年3月)をスタートさせました。

百十四グループは、この中期経営計画のもと、「地域のプラットフォーマー※」として、お客さまや地域社会が抱える様々な課題を金融の枠を越えて解決することで「お客さま・地域との共通価値創造」を図るとともに、業務効率化と人材の戦略的配置によりステークホルダーが笑顔で過ごせる持続可能な未来の共創に挑んでまいります。

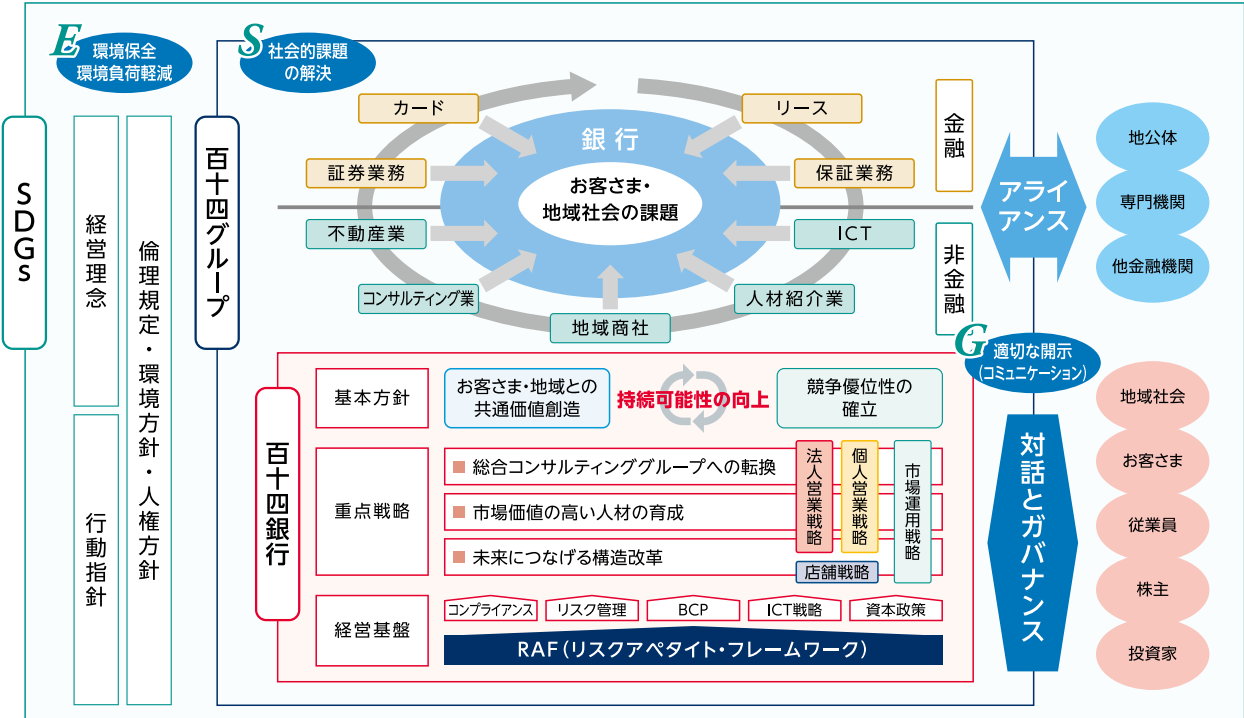
※ 地域のお客さまの様々な悩みを、銀行がもつ基盤や情報をもとにグループ全体で金融の枠を越えて解決を図る姿のこと。

名称・期間 中期経営計画(2020年4月～2023年3月)



～ステークホルダーが笑顔で過ごせる持続可能な未来の共創に挑む～

計画体系図



トピックス (Topics)

当行初の高機能型店舗オープン

広々としたロビースペースや約60台収容可能な駐車場を設置



2020年10月、高機能型店舗の第1号店として香西支店が新築移転オープンしました。

新・香西支店では、これまでの銀行店舗からイメージを大きく変え、気軽に立ち寄れる快適な店舗空間となっています。

特徴 1

ファーストコンタクトカウンター



店舗入り口に「コンシェルジュ」を配置し、お客さまのご相談内容に応じて、窓口や相談スペースへご案内します。

店内イメージ図



ファーストコンタクトカウンター

特徴 2

ゆったりとしたロビースペース



明るく開放的な空間で、ソファやカフェテーブルを設置。休日にはライフプランに関するセミナーも定期的開催しています。



セミナーの様子

特徴 3

個室型コンサルティングブース



タブレット端末とテレビモニターを設置し、リモート会議システムを導入。

本部行員がビデオ通話を介して、営業店行員とお客さまの商談をサポートします。



ビデオ通話を介した相談の様子

環境 (Environment)

環境に配慮した金融商品・サービスの提供、地域の環境保全活動等を通じて、環境配慮型社会の実現に取り組んでいます。



「百十四銀行 環境方針」

郷土の豊かな自然を守るとは、地域社会の一員である百十四銀行の使命であり、自らの企業価値を向上させる重要な経営課題です。

当行は、企業活動における環境負荷軽減を図るとともに、環境保全に取り組むお客さまを支援することにより、持続可能な社会の実現に貢献します。

🌿 法令・規則の遵守

環境保全に関する法令・規則に加えて、当行が賛同する環境に関する各種協定及び基準を遵守します。

🌿 環境負荷の低減

省資源、省エネルギーなどの推進により、環境負荷の低減につとめます。

🌿 環境保全活動の促進

環境問題への理解を深め、役職員一人ひとりが行内外での環境保全活動を促進します。

🌿 お客さまの取組み支援

環境に配慮した商品やサービスの提供などを通じて、お客さまの環境への取組みを支援します。

🌿 情報開示と対話

積極的な情報開示とステークホルダーとの対話を通じ、当行の環境保全に関する取組みの改善につとめます。

環境負荷の低減

🌿 紙使用量・CO₂排出量の削減



ペーパーレス会議システムの推進、CO₂排出量ゼロの電気自動車「i-MiEV」やハイブリッド車を導入するなど、紙使用量やCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

環境保全活動の促進

🌿 フォレストマッチング



香川県などと「百十四の森」フォレストマッチング協定を締結し、森林保全活動に取り組んでいます。2017年より、四国アライアンス4行間で、各行が実施している森林保全活動の相互参加をしています。

お客さまの取組み支援

🌿 環境に配慮した商品の取り扱い

環境配慮に取り組むお客さまを支援するための各種商品を取り扱っています。

- 環境配慮型私募債(愛称:百十四オリーブ債)
- 百十四SDGs環境応援ローン(愛称:百十四SDGsローン)
- 百十四再生可能エネルギー事業支援融資(略称:百十四エネルギーサポート)

🌿 省エネ・環境配慮ビル



本店ビルは省エネルギーのために、壁面ガラスを断熱性に優れたガラススクリーンで二重に覆う「ダブルスキン工法」を用いています。

🌿 地域の清掃活動に参加



日頃お世話になっている地元地域への感謝を込めて、それぞれの地域で開催される清掃活動に積極的に参加しています。

🌿 バイオマス発電事業に融資を実行

2020年9月、再生可能エネルギー分野に対する新たな取組みとして、四国アライアンス4行共同で、バイオマス発電事業に対するプロジェクトファイナンスに参画しました。

社会 (Social)

中期経営計画に掲げる重点戦略や地域社会との交流を通じてお客さまや地域の成長を支援しています。また、働き方改革にも積極的に取り組んでいます。



「百十四銀行 人権方針」

人権の尊重は、安心安全で豊かな社会を実現するために必要不可欠であり、その社会的責務を果たすことは、地域社会の一員である百十四銀行の重要な経営課題です。

当行は、採用活動をはじめとする企業活動のあらゆる局面において人権を尊重し、社会から信頼される企業として持続可能な社会の実現に貢献します。



国際規範の尊重

世界人権宣言をはじめとする人権に関する国際規範を尊重します。



差別の排除

あらゆる企業活動において、人種、国籍、信条、宗教、障がい、出身、性別、性的指向、性自認などを理由とした差別や人権侵害を行いません。



働きやすい職場環境の整備

一人ひとりの人権を尊重し、ハラスメントのない働きやすい職場環境を整備します。



人権教育の実施

人権に関する正しい理解と認識を深めるため、人権問題に関する教育を継続的に実施します。



情報開示と対話

積極的な情報開示とステークホルダーとの対話を通じ、当行の人権に関する取組みの改善につとめます。

香川県のすべての市町と包括連携協定締結

2020年7月、地域社会の持続的発展に寄与することを目的に、当行と三木町との間で「包括連携協力に関する協定書」の締結を行いました。この締結をもって、当行は香川県及び県下すべての市・町と連携協定を締結しました。



SDGs応援私募債の取扱い開始

2020年7月より、SDGsに取り組む、または取り組む予定のお客さまを応援すべく、SDGs応援私募債（愛称：百十四SDGs債）を取り扱っています。

引受総額
12件 1,500百万円
[2020年9月30日現在]

ソーシャルボンドへの投資

2020年9月、独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行するソーシャルボンドへ投資しました。本債券の発行により調達した資金は、政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業を通じて、開発途上国の社会課題の解決や、日本および国際経済社会の健全な発展のために活用されます。

地銀初!「114デジタル手続アプリ」の導入

2020年8月、これまで店頭でお願いしていた各種手続きがスマートフォン上で取扱いできるアプリを導入しました。



地方銀行初の諸手続き専用スマホアプリ

磁気不良等で利用できないキャッシュカードの再発行

当行にお届けの住所・電話番号の変更

紛失した通帳・キャッシュカードの利用停止と再発行のお申込み

中四国初! 遺言代用信託の取扱い開始

遺言の代用として、指定された方にスムーズに財産を引き継ぐことのできる信託商品「114遺言代用信託〜つなぐミライ〜」の取扱いを開始しました。また、2020年10月より、三井住友信託銀行株式会社の代理店として遺言信託・遺産整理業務の取扱いも開始しました。

社会 (Social)



ウィズコロナに向けた取組み

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地元香川県事業者等を応援する取組みを行っています。

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたお客さまの金融支援に取り組んでいます。全ての営業店に相談窓口を設置し、お客さまからの新たな資金ニーズやご返済条件の見直し等、さまざまなご要望に迅速かつ柔軟に対応しています。

また、事業者さまの事業資金をご支援するため「114緊急特別融資(新型コロナウイルス感染症対応)」、「返済猶予型小口ABL融資」も取り扱っています。

新型コロナウイルス感染症関連
相談受付件数 **4,900件**
[2020年9月30日時点]

新型コロナウイルス感染症拡大防止への取組み

「114てのひらプロジェクト」開始

2020年8月～12月の期間、新型コロナウイルス感染症拡大の防止を目的に、お客さまがインターネットバンキングやスマホアプリなど「3密」回避につながる対象のお取引を利用された場合、その件数等に応じて当行が香川県へ新型コロナウイルス感染症対策資金として寄付を行います。



- 寄付総額：プロジェクト全体を通じて、最大600万円(内訳:開始時に100万円(定額)、終了時に最大500万円)
- 対象のお客さま：香川県内店舗に口座をお持ちの個人・法人のお客さま



地域の消費喚起

タカマツおうちメシプロジェクト

高松市内で営業している飲食店の人気メニューをドライブスルー方式で販売するイベントを高松商工会議所・ナイスタウン出版株式会社と共同で開催しました。



焼肉店や居酒屋など
17店舗が参加
3時間で1,000食以上の
お弁当を販売!

KAGAWAわっしょい!!キャンペーン

当行役職員(パート・スタッフ含む)が、香川県内の事業者を消費で後押しするため、企画にご賛同いただいた飲食店やフィットネスクラブなどを利用すると、利用金額に応じてスタンプがもらえる取組みを開始しました。



加盟店数 **578**
[2020年9月30日時点]

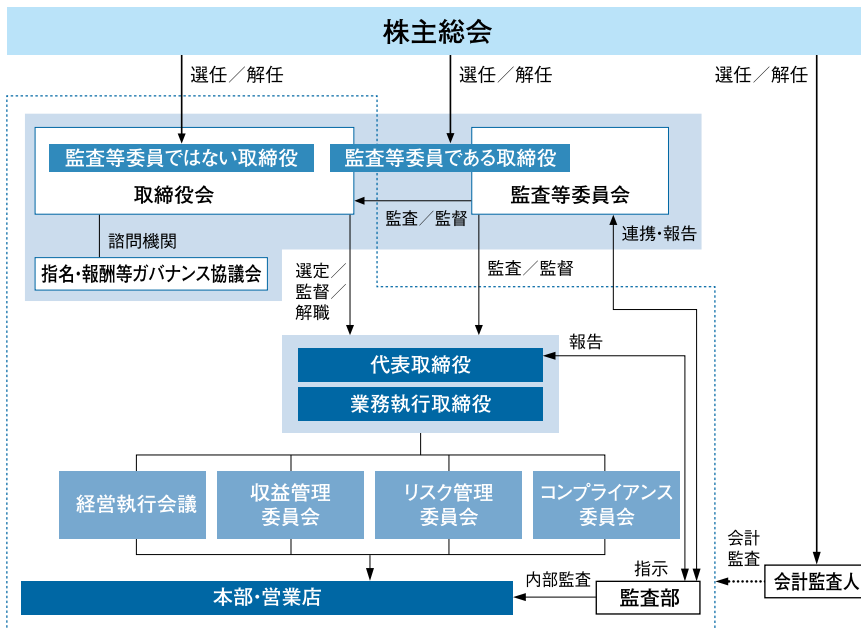
ガバナンス (Governance)

ガバナンス強化は当行の持続的な成長と

中長期的な企業価値向上に不可欠との認識のもと、態勢整備につとめています。



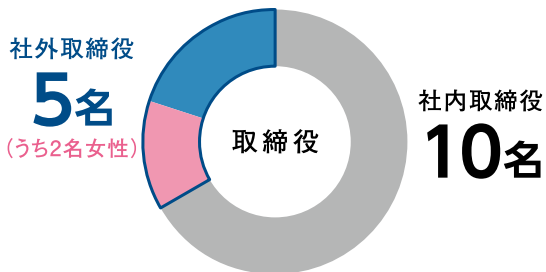
ガバナンス態勢及びコンプライアンス態勢強化への取組み



ガバナンス態勢強化のため、委員の過半数を社外取締役とする取締役会の諮問機関「指名・報酬等ガバナンス協議会」を設置しています。同協議会は、取締役候補者の指名及び取締役の解任、代表取締役の指名・解職、監査等委員ではない取締役の報酬等、取締役会の実効性評価に関する事項、その他ガバナンス及び経営上の重要な事項に関する審議を行い、取締役会はその答申の内容を尊重することとしています。

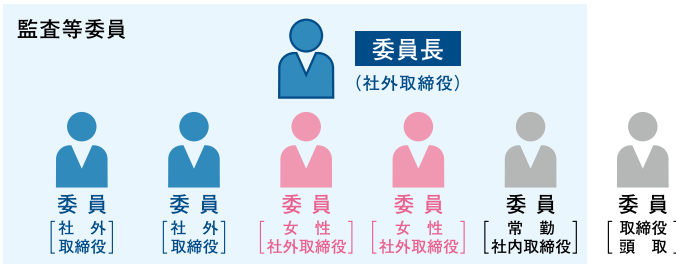
また、コンプライアンス態勢の強化を目的に、コンプライアンス全般を一元的に統括管理する最高責任者として「CCO(チーフ・コンプライアンス・オフィサー)」を設置しています。CCOはコンプライアンスに関する事案の調査を行い、結果を取締役会へ報告するほか、各部の施策や事案対応等にコンプライアンスの観点から問題があると認められる場合は速やかな改善及び対応を指示します。

取締役会の構成



(2020年9月末現在)

指名・報酬等ガバナンス協議会の構成



(2020年9月末現在)

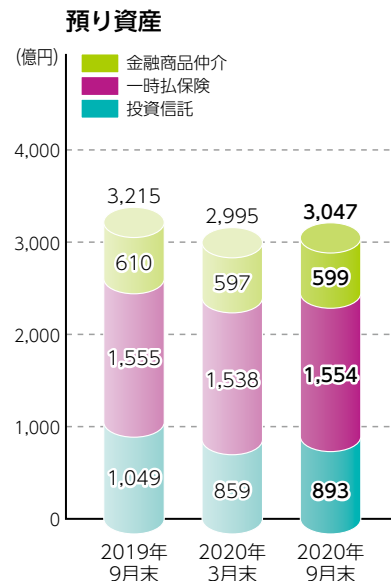
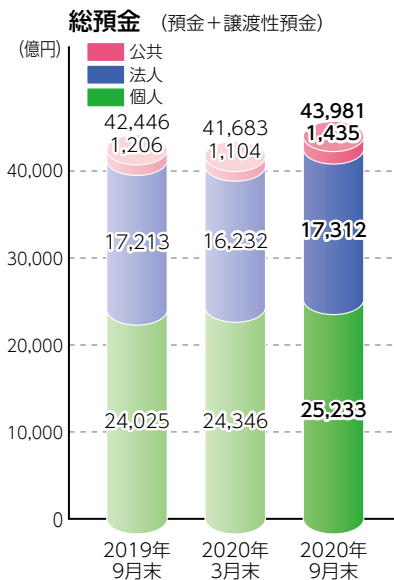
業績ハイライト

■ 総預金等・貸出金の残高推移

総預金等

当中間期末の総預金残高は、個人、法人及び公共預金の全てが増加したことにより、前期末比2,297億円増加して4兆3,981億円となりました。

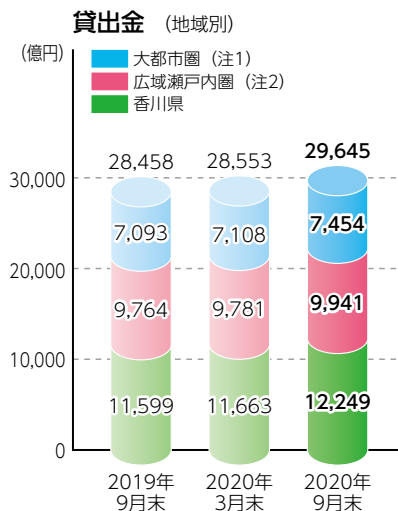
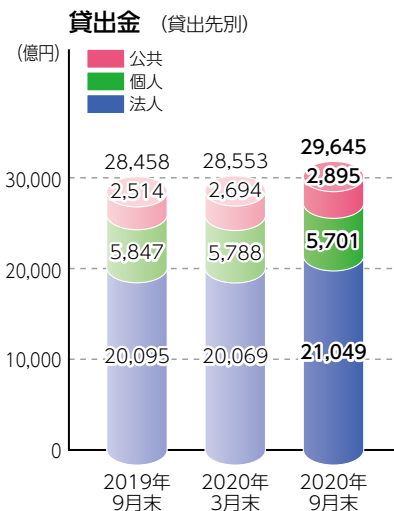
また、預り資産残高は、投資信託、一時払保険及び金融商品仲介がいずれも増加した結果、前期末比51億円増加して3,047億円となりました。



貸出金

当中間期末の貸出金残高は、個人向け貸出金は減少しましたが、法人向け及び公共向け貸出金が増加したことにより、前期末比1,092億円増加して2兆9,645億円となりました。

また、地域別では、香川県、広域瀬戸内圏及び大都市圏の全ての地域で残高が増加しました。



(注) 1. 大都市圏：東京、大阪、愛知
2. 広域瀬戸内圏：愛媛、徳島、高知、岡山、広島、兵庫、福岡

業績の推移

コア業務純益は、経費の削減に努めましたが、その他業務利益の減少などにより、前年同期比10億53百万円減少して45億83百万円となりました。

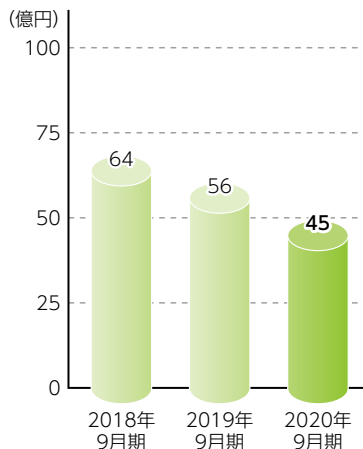
経常損益は、不良債権処理費用は減少しましたが、株式等償却の計上により、前年同期比61億30百万円減少して12億90百万円の損失となりました。

また、中間純損益は、前年同期比46億46百万円減少して18億84百万円の損失となりました。

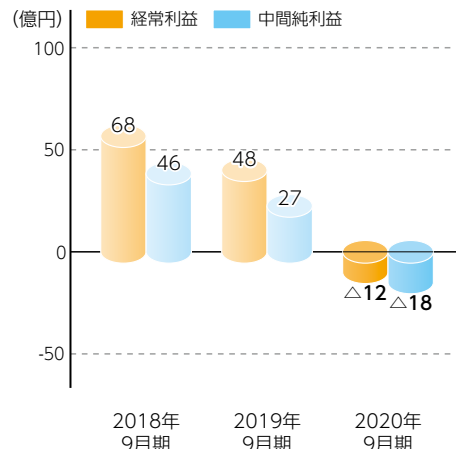
＊コア業務純益とは

コア業務純益 = コア業務粗利益(資金利益 + 受取手数料など) - 経費
銀行の本来業務からの利益を表す指標。

コア業務純益

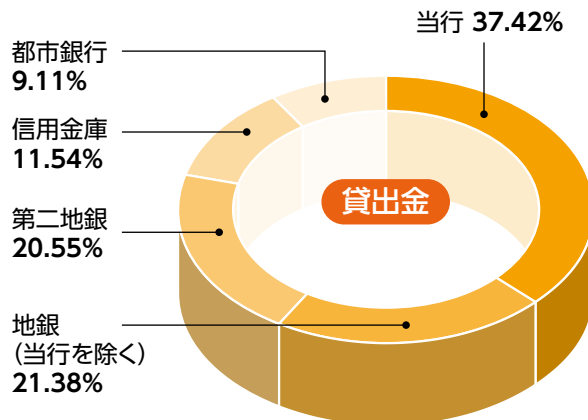
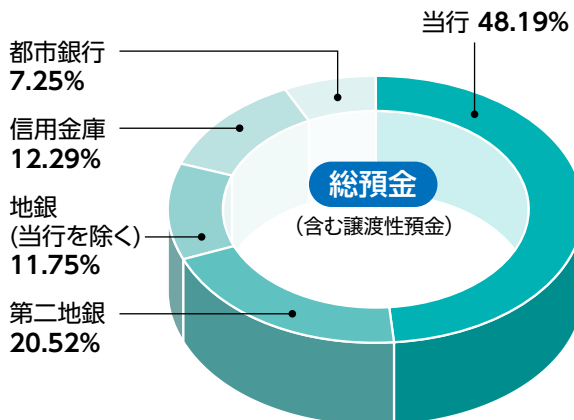


経常利益・中間純利益



香川県内シェア

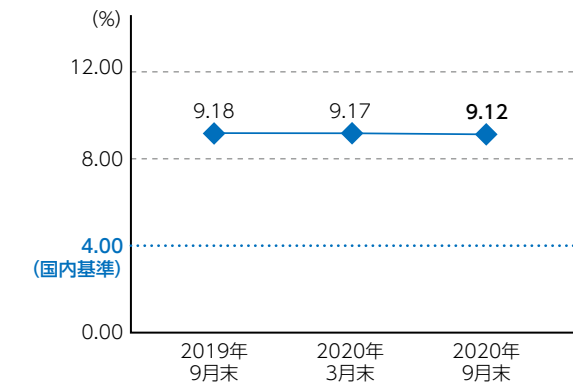
(2020年9月30日現在)



経営の健全性について

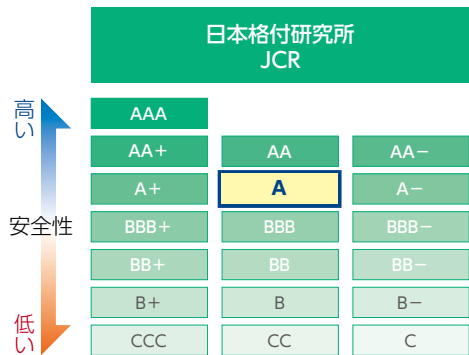
■ 連結自己資本比率の推移

自己資本比率は、銀行の健全性を示す指標の一つです。
自己資本比率規制（国内基準）に基づく当行の連結自己資本比率は、2020年9月末現在で9.12%となっており、引き続き十分な水準を確保しております。



■ 格付

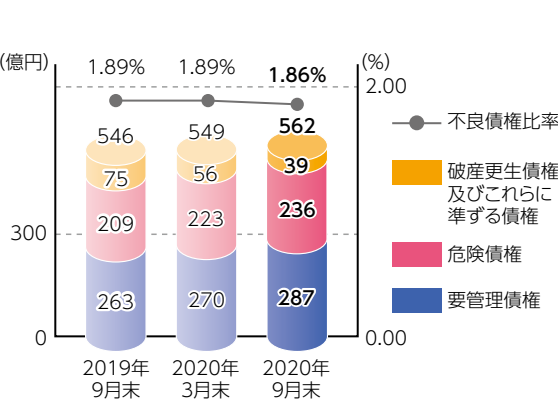
当行は、日本格付研究所（JCR）から長期発行体格付について「A」の格付を取得しており、経営の健全性について高く評価されています。



(2020年9月30日現在)

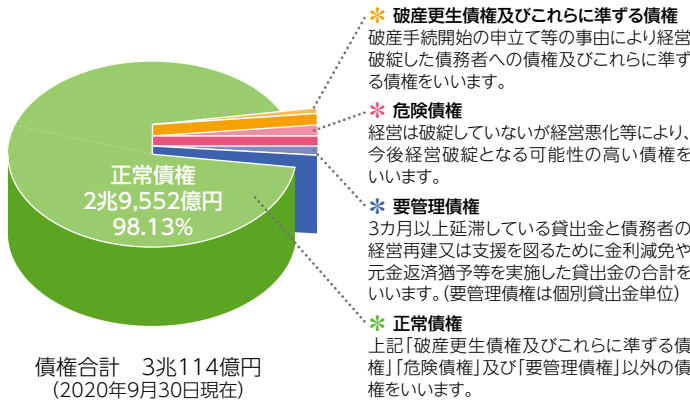
■ 金融再生法開示債権の状況

当中間期末の金融再生法開示債権ベースの不良債権残高は、前期末比13億円増加して562億円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は前期末比0.03ポイント低下して1.86%となりました。



* 金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額（貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金〈貸出金に準ずるもの〉）及び銀行保証付私募債）を対象とし債務者単位で区分しております。



- * 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産手続開始の申立て等の事由により経営破綻した債務者への債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
- * 危険債権
経営は破綻していないが経営悪化等により、今後経営破綻となる可能性の高い債権をいいます。
- * 要管理債権
3か月以上延滞している貸出金と債務者の経営再建又は支援を図るために金利減免や元金返済猶予等を実施した貸出金の合計をいいます。（要管理債権は個別貸出金単位）
- * 正常債権
上記「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権をいいます。

株式情報

■ 株式のご案内

- ▶ **事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。
- ▶ **定時株主総会**
毎年6月に開催いたします。
- ▶ **配当金のお支払**
期末配当金 3月31日現在の株主に対しお支払いいたします。
中間配当金 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主に対しお支払いいたします。
なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込みをご指定いただきますと便利です。
- ▶ **基準日**
定時株主総会については、毎年3月31日といたします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告します。

- ▶ **株式事務取扱場所**
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

各種お問合せ
(郵便物送付先) 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
(ご照会先) 0120-094-777(通話料無料)
(ホームページアドレス) <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

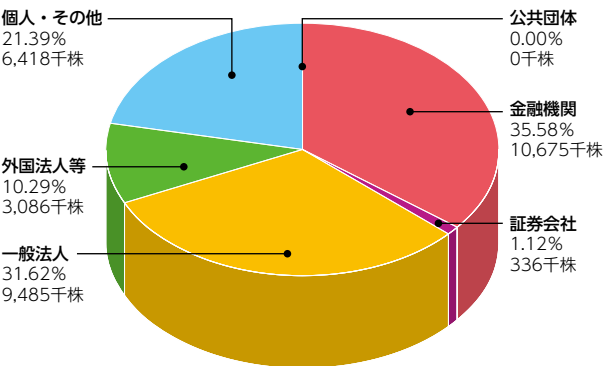
〈株式に関する各種お手続き〉
届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求などについては、口座開設されている証券会社等(証券会社等に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社)へお届出ください。

- ▶ **公告掲載方法**
電子広告により行います。
当行ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

■ 株式の状況

(2020年9月30日現在)

- ▶ **発行済株式の総数**：30,000千株
- ▶ **株主数**：14,252名
- ▶ **所有者別株式数**



■ 株主優待制度

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまに当行株式を長期保有していただくために、株主優待制度を導入しております。

- ▶ **対象となる株主さま**
2020年9月より、毎年3月31日時点の当行株主名簿に記載された100株(1単元)以上を1年以上(2021年3月末基準は半年以上)継続保有される株主さまが対象となります。

- ▶ **優待制度の内容**
地元香川県の特産品および世界遺産登録推進活動に対する寄付コース(※)を掲載した専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。
なお、専用カタログは毎年6月の発送を予定しております。



保有株式数	専用カタログ
100株以上500株未満	2,500円相当
500株以上	5,000円相当

※寄付先:「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会

財務データ | 当行単体

中間貸借対照表

		(単位: 百万円)	
科 目	2020年9月期 (2020年9月30日現在)	科 目	2020年9月期 (2020年9月30日現在)
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	832,466	預 金	4,300,776
買入金銭債権	21,090	譲渡性預金	97,360
商品有価証券	6	コールマネー	12,283
有価証券	1,275,023	債券貸借取引受入担保金	78,433
貸出金	2,964,531	借入金	388,429
外国為替	10,680	外国為替	249
その他の資産	61,910	その他の負債	47,457
その他の資産	61,910	未払法人税等	1,049
有形固定資産	33,612	リース債務	676
無形固定資産	4,183	資産除去債務	198
前払年金費用	8,809	その他の負債	45,531
支払承諾見返	20,909	睡眠預金払戻損失引当金	292
貸倒引当金	△14,304	偶発損失引当金	157
		株式報酬引当金	98
		繰延税金負債	6,266
		再評価に係る繰延税金負債	5,103
		支払承諾	20,909
		負債の部合計	4,957,818
		(純資産の部)	
		資本金	37,322
		資本剰余金	24,920
		資本準備金	24,920
		利益剰余金	162,166
		利益準備金	12,402
		その他利益剰余金	149,764
		固定資産圧縮積立金	273
		別途積立金	148,661
		繰越利益剰余金	829
		自己株式	△2,070
		株主資本合計	222,338
		その他有価証券評価差額金	35,331
		繰延ヘッジ損益	△4,585
		土地再評価差額金	7,976
		評価・換算差額等合計	38,722
		新株予約権	41
		純資産の部合計	261,102
資産の部合計	5,218,921	負債及び純資産の部合計	5,218,921

中間損益計算書

		(単位: 百万円)	
科 目	2020年9月期 (2020年4月1日～2020年9月30日)	科 目	2020年9月期 (2020年4月1日～2020年9月30日)
経常収益	30,295	経常費用	31,586
資金運用収益	19,693	資金調達費用	1,432
(うち貸出金利息)	13,459	(うち預金利息)	406
(うち有価証券利息配当金)	5,941	役務取引等費用	2,086
役務取引等収益	4,753	その他業務費用	1,053
その他業務収益	1,913	営業経費	17,526
その他経常収益	3,935	その他経常費用	9,486
経常損失(△)	△1,290	経常損失(△)	△1,290
特別利益	0	特別利益	0
特別損失	20	特別損失	20
税引前中間純損失(△)	△1,309	税引前中間純損失(△)	△1,309
法人税、住民税及び事業税	1,387	法人税、住民税及び事業税	1,387
法人税等調整額	△812	法人税等調整額	△812
法人税等合計	574	法人税等合計	574
中間純損失(△)	△1,884	中間純損失(△)	△1,884

財務データ | 連結

中間連結貸借対照表

		(単位: 百万円)	
科 目	2020年9月期 (2020年9月30日現在)	科 目	2020年9月期 (2020年9月30日現在)
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	832,586	預 金	4,294,043
買入金銭債権	21,090	譲渡性預金	90,360
商品有価証券	6	コールマネー及び売渡手形	12,283
有価証券	1,273,302	債券貸借取引受入担保金	78,433
貸出金	2,956,807	借入金	401,651
外国為替	10,680	外国為替	249
リース債権及びリース投資資産	23,973	その他負債	54,828
その他資産	65,543	退職給付に係る負債	1,348
有形固定資産	37,167	役員退職慰労引当金	39
無形固定資産	5,496	睡眠預金払戻損失引当金	292
退職給付に係る資産	3,161	偶発損失引当金	157
繰延税金資産	871	株式報酬引当金	98
支払承諾見返	20,909	繰延税金負債	4,238
貸倒引当金	△16,949	再評価に係る繰延税金負債	5,103
		支払承諾	20,909
		負債の部合計	4,964,038
		(純資産の部)	
		資本金	37,322
		資本剰余金	30,486
		利益剰余金	170,618
		自己株式	△2,070
		株主資本合計	236,356
		その他有価証券評価差額金	35,545
		繰延ヘッジ損益	△4,585
		土地再評価差額金	7,976
		退職給付に係る調整累計額	△4,724
		その他の包括利益累計額合計	34,211
		新株予約権	41
		純資産の部合計	270,609
資産の部合計	5,234,648	負債及び純資産の部合計	5,234,648

中間連結損益計算書

		(単位: 百万円)	
科 目	2020年9月期 (2020年4月1日～2020年9月30日)	科 目	2020年9月期 (2020年4月1日～2020年9月30日)
経常収益	34,837	経常費用	35,570
資金運用収益	19,579	資金調達費用	1,435
(うち貸出金利息)	13,496	(うち預金利息)	406
(うち有価証券利息配当金)	5,790	役員取引等費用	1,715
役務取引等収益	5,436	その他業務費用	1,053
その他業務収益	1,913	営業経費	18,469
その他経常収益	7,908	その他経常費用	12,895
経常費	35,570	経常損失(△)	△732
資金調達費用	1,435	特別利益	16
(うち預金利息)	406	特別損失	36
役員取引等費用	1,715	税金等調整前中間純損失(△)	△752
その他業務費用	1,053	法人税、住民税及び事業税	1,664
営業経費	18,469	法人税等調整額	△844
その他経常費用	12,895	法人税等合計	820
経常損失(△)	△732	中間純損失(△)	△1,573
特別利益	16	親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△1,573
特別損失	36		
税金等調整前中間純損失(△)	△752		
法人税、住民税及び事業税	1,664		
法人税等調整額	△844		
法人税等合計	820		
中間純損失(△)	△1,573		
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△1,573		

当行は、下記9社を子会社として中間連結財務諸表を作成しております。

日本橋不動産株式会社
百十四ビジネスサービス株式会社
株式会社百十四人材センター
百十四財田代理店株式会社
株式会社百十四システムサービス
株式会社百十四ジェーシーピーカード
株式会社百十四ディーシーカード
百十四総合保証株式会社
百十四リース株式会社

店舗等の配置

【2020年9月30日現在】

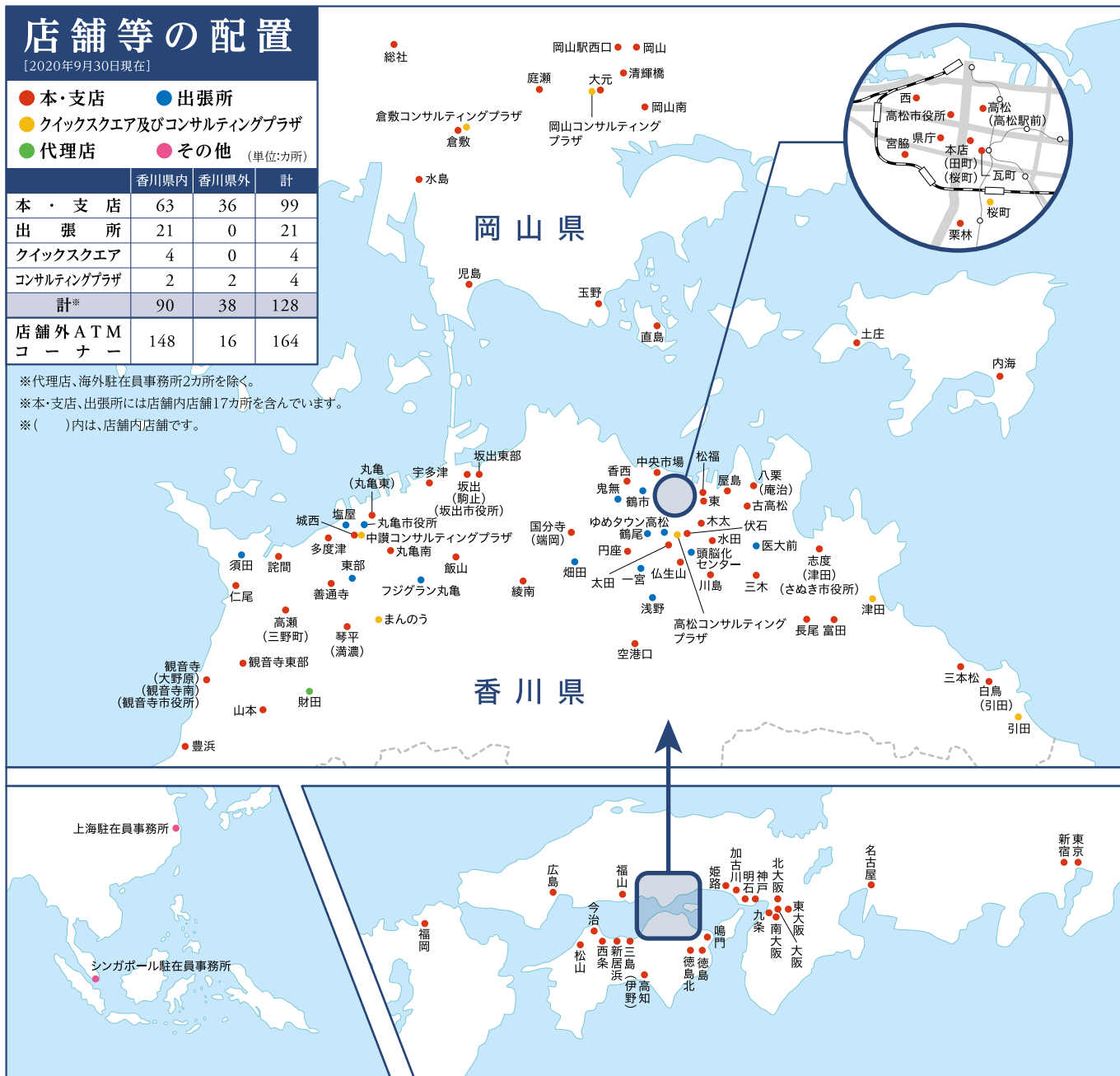
- 本・支店
- 出張所
- クイックスクエア及びコンサルティングプラザ
- 代理店
- その他 (単位:カ所)

	香川県内	香川県外	計
本・支店	63	36	99
出張所	21	0	21
クイックスクエア	4	0	4
コンサルティングプラザ	2	2	4
計*	90	38	128
店舗外ATMコーナー	148	16	164

※代理店、海外駐在員事務所2カ所を除く。

※本・支店、出張所には店舗内店舗17カ所を含んでいます。

※()内は、店舗内店舗です。



いい出会い ふくらむ未来

百十四銀行

編集発行／2020年12月 百十四銀行 経営企画部広報CSRグループ

〒760-8574(専用) 香川県高松市亀井町5番地の1

Tel.(087)831-0114 ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>



この印刷製品はグリーン基準に適合した印刷
資材を使用し、グリーンプリンティング認定
工場が印刷した環境配慮製品です。